

原子力安全検討会
第1回 議事録

日 時： 2012年2月24日（金） 10：00 ～ 12：15

場 所： 日本原子力技術協会 7階 A,B会議室

出席者： 田中主査（東大）、関村委員（東大）、中村委員（阪大）、山口委員（阪大）、宮野委員（法政大）、山下委員（JNES）、更田委員（JAEA）、飯倉委員（東芝）、黒岩委員代理（MHI）、守屋委員（日立）、千種委員（関電）、宮田委員（東電）、成宮分科会幹事（関電）、河井分科会幹事（原技協）

オブザーバー： 平川(原技協)、船曳(MRI)、村上(MRI)

事務局： 菅野(原子力学会)

(敬称略)

配付資料

資料 1-1. 原子力安全検討会（仮称）の設置について

資料 1-2. 原子力安全検討会 原子力安全分科会の検討状況について

資料 1-3. 原子力安全の目的（案）

資料 1-4. 原子力安全の基本原則（案）

参考資料

日本原子力学会『原子力安全の考え方』の検討開始について

議事及び主な質疑応答

(1) 配布資料の確認

菅野氏より、配布資料の確認が行われた。

(2) 原子力安全検討会設置主旨について

宮野委員より、検討会の設置主旨について説明がなされた。

田中委員に主査にご就任いただくことについて多数決を取ったところ、賛成 10 名、反対 1 名、保留 1 名の賛成多数で、田中委員に主査にご就任いただくこととなった。

- ・ 田中主査には、学会長との立場でご参加いただくのではなく、一学会員としてご参加いただくことについて議論がなされた。

(3) 原子力安全分科会の検討状況の報告

成宮分科会幹事より、資料 1-1、1-2 を用いて、分科会での検討状況について説明がなされた。

- ・ 分科会での各委員、常時参加者の参画状況について確認・議論がなされた。
 - 委員構成に対する社会の見方
- ・ 基本安全原則を作成する意義、基本安全原則の位置づけについて議論がなされた。
 - 学会で基本安全原則を検討することの妥当性
 - 学会標準と基本安全原則の関係性
 - 学会としてのコミットメントに関する記載の有無
 - 原子力安全委員会が策定する基本原則との関係性
- ・ 基本安全原則の作成のために必要なプロセスについて議論がなされた。
 - 実学を踏まえた議論、基本安全原則策定のための方策
 - 基本原則、要件、標準の体系の下に位置づけられる組織ごとの取組みの課題整理の必要性
 - 調査対象の選定（INSAG で行われた議論とその経緯など）
 - 国際的な視点からの議論のあり方

成宮分科会幹事より、資料 1-3、1-4 を用いて、分科会での詳しい検討内容について説明がなされた。

- ・ 社会的コストや社会的合意に関する原則、指針の必要性について指摘がなされた。
- ・ 緊急時のための準備、対策に資する原則の必要性について議論がなされた。
 - 緊急時における外部支援・連携方策のあり方（要請の内容や要請する対象）
 - 緊急時における政府、自治体、事業者の役割
 - 緊急時における事業者からの情報発信の必要性
 - メディアを含めた防災計画の策定、防災訓練の実施の必要性
 - 「想定外」を認識した上での対策の検討の必要性
- ・ セキュリティの取扱いについて議論がなされた。
- ・ 分科会での議論の進め方について議論がなされた。
 - 原子力安全部会や他の部会へのコメント依頼

(4) 次回検討会日程

成宮分科会幹事より、今後のスケジュールについて説明がなされた。

以上